

映画の街「尾道」・ラーメンの街「尾道」。新天地で迎えてくれたのは花の道。

「びんご運動公園」コース 広島県 No.12
JOA公認 No.142 6.5 km 10 ポスト

春の陽気に誘われて

この春から広島へ転勤になり、春の陽気に誘われて早速パーマナントコース歩きにでかけました。

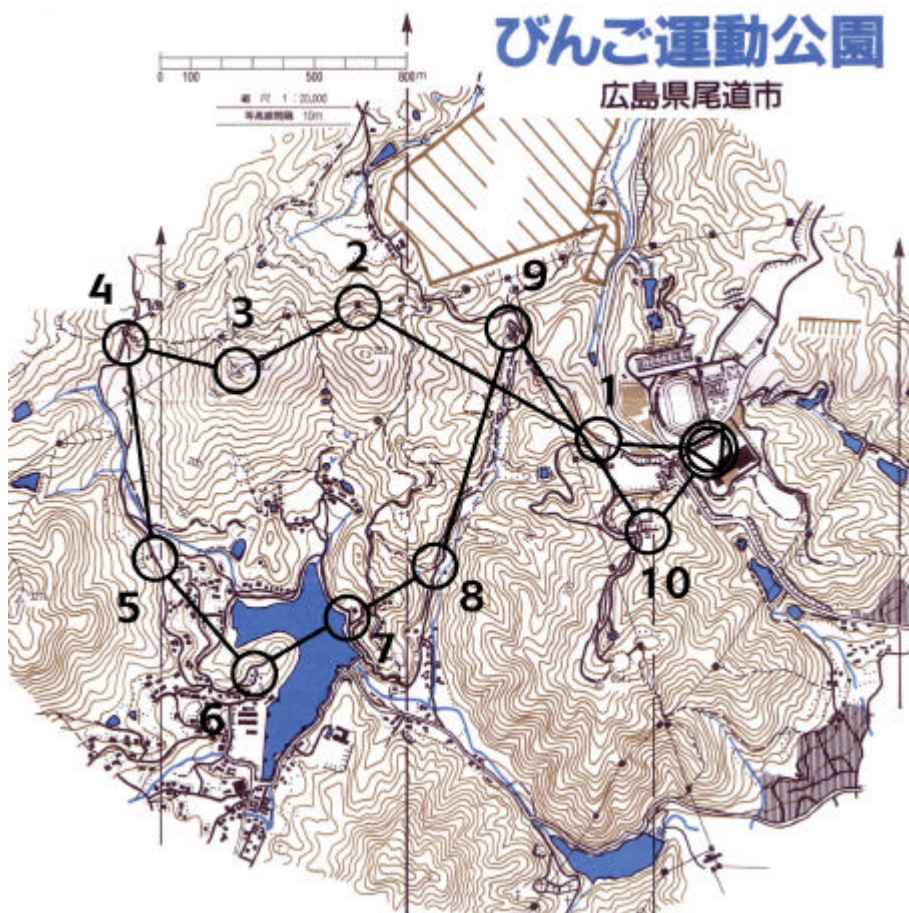
今回紹介する「びんご運動公園」コースは、尾道市制 100 周年を記念し、平成 10 年 4 月 29 日に「尾道・久山田」コースの後継として誕生しました。私がこの久山田コースを歩いたのが、新コースへの移行を 4 日後に控えた 4 月 25 日のこと。このときすでに、新たなスタート地点となった運動公園にはダンボールの梱包が被せられたままの案内板が設置されていました。しかし、運動公園の造成が進められていたこともあり、新コースも開設後しばらくは、第 1 ポストと第 10 ポストが未設置という暫定措置が取られていました。

久山田コースと運動公園コースの違いは、久山田コースの南端部分がカットされ、この運動公園エリアが追加されたこと。久山田コースを歩いてしまっていると、完全な形でオープンするまでは面白くないということになります。そんなこともあり、いずれまたと思っているうちに早 10 年。ようやく再訪が実現しました。



びんご運動公園

広島からは山陽新幹線に乗り「新尾



道」で下車。20 分ほど歩くと「広島県立びんご運動公園」に到着します。スタート地点は「健康スポーツセンター」前広場。以前と同じところに案内板も立っています。たださすがに 10 年というときの流れは感じさせる文字の退色ぶり。注意事項は全く読めません。マスターマップもギリギリ判読可能といった状態です。何とか読み取ったはいいものの、実はこのマスター、激しく位置がずれています。これから回ろうと計画される方は、このページに掲載されているコース図を転記ください。

マップは広島県オリエンテーリング協会から以前入手していたものがあったので現地での確認はしていませんが、地図によると公園の事務所でも扱っているようです。

コースは標高 289m の「大峰山」が最高地点で、それ以外は山間と湖畔のなだらかなルートを歩きます。急峻な山岳コースが多い広島県下のコースのなかでは珍しいくらいの存在です。

大峰山に向って

12 時 57 分にスタートし、まずは「みどり橋」を渡って「冒険の森」へ。見上げると斜面にはジャイアントスロープと名づけられた芝地が広がっています。これは、グラスボードと呼ばれるソリで滑り降りるというもの。自分の子供の頃はダンボールを敷いてこんな遊びをしたものですが、機材が立派になるほど、子供から面白さが失われるのかな、なんて思ったりもしてしまいます。家族連れで賑わう一帯を抜け、道路に戻ると道端にある第 1 ポストは呆気なくみつかります。

駐車場の前を過ぎると喧騒から逃れ、目指すは大峰山。途中、缶のポイ捨てを戒める「投げたらあ缶」という、『VOW』にでも投稿されそうな看板と遭遇します。分岐ごとに設置されている道標の「大峰山」の表示にしたがってルートを選択すると、登山ルートへ導かれ、鉄塔近くで第 2 ポストを発見します。



大峰山山頂

第3ポストが大峰山山頂。整備された小道を等高線に沿った高度ですいすいと進みます。鞍部を過ぎ、折り返すように尾根筋を上り始めると、鉄塔脇を通過。この先に頂上へ向かうルートとの分岐があります。古いコースガイドには「どこでも登れるので草をかき分けながら登る」と記されていますが、今は立派な小道が通じています。山頂に着くと、以前は月星シューズの広告入りポストがあった同じ場所に、FRPのポストが立っています。広々としたスペースがあり、見晴らしの良いところでもあるので、昼食休憩にはうってつけ。レジャーシートを広げて風景を満喫したいところです。石積みの祠には「踏み石になっても捨て石になるな」という何やらありがたい言葉が刻まれたプレートが置かれています。

第4ポストへは急坂を一気に駆け下ります。野生の小ぶりなつつじが咲き乱れ、一面ピンク色。その中を貫く山道は覆いかぶさる藪もなく、開放感に溢れています。山を下りきり、道路に出ると、薄汚れたポストが立っています。

山道を終え、久山田の町へ向かって南へ。舗装道路をのんびり歩いていると、第5ポストは道端の右手で待ち構えています。

そのまま南へ向かうと徐々に町の景色が広がります。久山田水源池に突き出るように続く尾根筋を進み、道が途切れたところにマスターではポストがあることになっています。それに従い墓地の周辺を探すものの、いくら探してもポストの姿を確認できません。しばらくしてマスターを疑い始め、大きく引き返すことにします。そして、ふと神社を見下ろすと、その境内にあるポストを遠目に確認することができました。名前はどこにも記されていない名もなき神社です。

久山田コース時代はここからさらに南へ向かったのですが、今回のコース

は水源池の北縁を回ります。道端には白と黄色の水仙の花が咲き乱れ、ほとりに立つ桜の木は満開。春麗らかな景色に包まれながら歩くのはまさにヒーリングです。30年前にオリエンテーリングに初挑戦した野田清水公園コースも桜が満開だったことを思い出したりしながら歩を進めます。第7ポストは久山田コースの第1ポストと同じ場所。損壊し、頭の落ちていた以前のポストは撤去され、新しいポストが毅然と立っています。

久山田ダムのすり鉢状の堤防を過ぎると水源池ともお別れです。ここからは久山田コースのルートから離れ、山すそを回り込み北に向かいます。山間の平坦な道を歩いていくと、第8ポストは道端で簡単に見つかります。

道沿いの耕作地は進むにつれて休耕地となり、荒地と化してきます。未舗装道路になると次第に上り坂となり、第9ポストはヘアピンカーブの目前にあります。これもマスターの丸印から大きくずれています。

カーブを過ぎると第2ポストへのルートに合流。第1ポストの前を再び通り、冒険の森のジャイアントスロープの上に向かいます。運動公園全景を見渡せる高さまでやってくると、成長した樹木に埋もれ気味の最終ポストはもうすぐです。

冒険の森、みどり橋を再度歩き、スタートから2時間36分でゴールしました。

た。

散策気分で回れるコース

4月1日から運動公園の管理は、尾道市からポラールグループびんごに移管されたようですが、そのホームページにはオリエンテーリングに関する案内が残念ながらありません。マスターやポストの状態からも10年前にコースを新しくした際の思いはやや後退しているようですが、散策気分で気軽に歩ける推奨コースです。

(2008年4月12日 踏破)
(大高竜亮)



桜が満開の久山田水源池